

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

《無断転載禁止》

レジメン番号： NSC-131

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	CBDCA+S-1	21日間	3~6コース	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高/中	J Clin Oncol 28: 5240-46, 2010

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
②	アロキシ 生理食塩液	0.75mg 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250mL	点滴静注	60分	↓																				
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
⑤	ティーエスワン	80mg/m ² /日	内服	1日2回に分けて 朝夕食後	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓	↓↓			

<注意事項/備考>

- ✓ S-1投与量：BSA<1.25m²：80mg/day、1.25≤BSA≤1.5m²：100mg/day、BSA>1.5m²：120mg/day
- ✓ S-1：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける） / 空腹時の内服は避ける（抗腫瘍効果減弱の可能性）
- ✓ CBDCA：投与回数を重ねると、ショック、アナフィラキシー様症状の発現頻度が高くなる傾向（8コース前後）
- ✓
- ✓
- ✓